

〔ラン・マックス ホースエンド⇄テフロン・ケブラーホース組み付け手順〕 次世代ホース遂に登場！



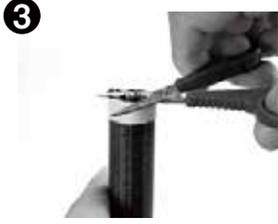
〔テフロン・ケブラーメッシュホースの特徴〕

- ▶良く曲がる
- ▶軽い
- ▶熱に強い
- ▶こすれても切れにくい(摩擦に強い)
- ▶伸びにくい
- ▶膨張しにくい
- ▶電気を通さない
- ▶ガソリン配管の際、臭いがしない

▶テフロンとケブラー>>>ホースに関しては最強の組み合わせだと…。

- 

1 切断する箇所が切れにくく、ささくれやすい為、まず最初にP398のクリアラップテープを巻き付け、さらにその上からP398の粘着テープを巻きクリアラップテープを固定します。
- 

2 次にP365の専用カッターを使い、ケブラー・テフロンホースを切断します。
- 

3 次に切れ残った場合、P365の専用ハサミを使いささくれた部分をカットして下さい。その際、表面のケブラー部分はインナーのテフロン部分より飛び出さないようにきれいにカットして下さい。
- 

4 次に先程**1**で、巻き付けたテープ類をす〜っと引き出します。
- 

5 次にホース外側へ先にソケット部を入れ、次にオリーブ部の順番に通して行きます。通す順番及び向きは写真を参照して下さい。ささくれて入れにくい場合ラップテープのみを先端に巻き付け入れ込んで下さい。
- 

6 次にホースの内側にナット/ニップル部を奥まで差し込みます。
- 

7 次に先程通したソケット部、オリーブ部をホースの先端まで移動させ、ナット/ニップル部を組み付けし、手で固くなるまで締め込みます。その際ネジ部にはP196のアッセンブリーループを塗布して下さい。
- 

8 次にニップル部分をバイスで固定します。その場合、キズやスベリ防止の為、P364のバイスジョーの使用をおすすめします。
- 

9 次に本締めですが、上記同様P362、P363のホースエンドレンチ又は、モンキーレンチを使用しての締め付けをおすすめします。最後に、終わってみて工程も少なく簡単に組み付け出来たと思いませんか!?

〔ラン・マックス ホースエンドレンチ対応表〕

ホースサイズ	ナット部/ラン・マックス品番	ソケット部/ラン・マックス品番
#04	RT3204 or RT3034	RT3046
#06	RT3206 or RT3046	RT3068
#08	RT3208 or RT3068	RT3080
#10	RT3210 or RT3080	RT0312B
#12	RT3212 or RT3102	RT0312B

※サイズの確認は、P362、P363を参照して下さい。

※表示の本体価格は税抜価格です。
 お支払時に別途消費税額を申し受けます。

このページは、株式会社キノクニエンタープライズ、またはその代理人が管理しています。
 この情報は著作権があり、掲載の記事・写真・イラストなどの無断複写・転載等を禁じます。